



## 2020年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月10日

上場会社名 TONE株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5967 URL https://tonetool.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松村 昌造  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 井上 昌良 TEL 06-6649-5967  
 四半期報告書提出予定日 2019年10月10日  
 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年5月期第1四半期の連結業績（2019年6月1日～2019年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第1四半期	1,149	1.0	126	91.7	133	43.0	91	45.2
2019年5月期第1四半期	1,137	17.1	65	42.4	93	46.6	63	14.5

(注) 包括利益 2020年5月期第1四半期 75百万円 (44.9%) 2019年5月期第1四半期 52百万円 (△43.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第1四半期	46.74	—
2019年5月期第1四半期	30.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第1四半期	7,405	6,095	82.3
2019年5月期	7,997	6,490	81.2

(参考) 自己資本 2020年5月期第1四半期 6,095百万円 2019年5月期 6,490百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	—	—	60.00	60.00
2020年5月期	—	—	—	—	—
2020年5月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,150	13.0	490	12.9	500	4.6	340	3.8	175.45
通期	6,690	8.3	1,050	7.0	1,070	5.3	730	△16.9	376.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期1Q	2,342,600株	2019年5月期	2,342,600株
② 期末自己株式数	2020年5月期1Q	404,685株	2019年5月期	268,885株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期1Q	1,965,815株	2019年5月期1Q	2,060,311株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に穏やかな回復基調が続いているものの、一方で、米中の通商問題をめぐる緊張の長期化が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性など、世界経済が減速していくリスクも抱えており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中で、当社グループは「『ボルディング・ソリューション・カンパニー』として社会の発展に貢献し、地球上になくしてはならない企業をめざす。」ことを企業理念に掲げ、「ボルト締結分野」においてお客様が求める価値を的確に捉え、「スピード感と一体感のある製品開発体制」を基軸に保有技術を有効的に活用し、より多くのお客様に「ボルト締結」に最適な手段を提供してまいりました。

併せて、主力製品「シャーレンチ」製品群および充実のラインアップを誇る「ナットランナー」製品群の販売促進活動を展開するとともに、ボルト締結に重要な役割を果たす「トルク管理」製品群など、競争優位性の高い製品群の拡張に加え、変化、多様化するお客様要望に応えた特殊品対応を行うことによる市場ニーズの把握、新規市場開拓を図るなど売上高の伸長に懸命な努力をいたしました。

さらに、より多くの人々に工具の魅力を伝えることを目的に、「TONEブランド戦略」としてモータースポーツ応援、レーサーサポートやレース協賛など時代の変化を感じ取りながら、展開してまいりました。

今後も魅力ある製品群と高まるブランド力を通じて、TONEのさらなる飛躍と新たな可能性を追求してまいります。

その結果、作業工具類の売上高は、5億5千9百万円となりました。機器類の売上高は、建築土木関連に需要の高まりが見られ、5億8千9百万円となりました。

従いまして、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は11億4千9百万円（前年同期比1.0%増）となりました。また、利益面では営業利益は1億2千6百万円（前年同期比91.7%増）、経常利益は1億3千3百万円（前年同期比43.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は9千1百万円（前年同期比45.2%増）となりました。

各セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### (国内)

作業工具類の売上に関しましては、大手企業の設備投資において、一部弱含みが見られましたものの、魅力ある新製品群の積極販売やトルク管理機器・エアツールの積極的な提案を行い、売上伸長に努めてまいりました。

機器類の売上に関しましては、資材不足により建設土木関連においては本格的な回復はいたらないものの、建築需要の高まりに応える製品群を取り揃え、売上拡大に努めてまいりました。

その結果、売上高は9億5千8百万円（前年同期比0.03%増）となり、セグメント利益は9千4百万円（前年同期比32.4%増）となりました。

#### (海外)

米国市場では保護主義的政策展開を背景に、建築土木関連で一部に回復の兆しも見られ、併せて欧州や中東において新規市場開拓を継続し、顧客ニーズを捉えた販売活動を行い、売上を順調に獲得してまいりました。

その結果、輸出合計は1億9千万円（同期比6.3%増）となり、セグメント利益は3千1百万円（前年同四半期はセグメント損失△5百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

資産合計は、74億5百万円（前連結会計年度末79億9千7百万円）となり前連結会計年度末に比べ5億9千2百万円減少しました。この主な要因は、商品及び製品の増加1億7千万円等がありましたが、現金及び預金の減少3億8千2百万円、受取手形及び売掛金の減少3億3千9百万円等によるものであります。

## (負債)

負債合計は、13億9百万円（前連結会計年度末15億6百万円）となり前連結会計年度末に比べ1億9千6百万円減少しました。この主な要因は、短期借入金の増加9千5百万円等がありましたが未払法人税の減少1億8千2百万円等によるものであります。

## (純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、60億9千5百万円（前連結会計年度末64億9千万円）となり前連結会計年度末に比べ3億9千5百万円減少しました。この主な要因は、自己株式の増加3億6千3百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期の業績予想につきましては、2019年7月12日に公表いたしました予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	909,198	526,779
受取手形及び売掛金	1,652,551	1,312,951
商品及び製品	1,420,811	1,591,169
仕掛品	401,876	376,396
原材料及び貯蔵品	770,304	798,240
その他	60,078	48,887
貸倒引当金	△5,275	△4,265
流動資産合計	5,209,546	4,650,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	557,919	571,932
機械装置及び運搬具(純額)	134,612	111,789
工具、器具及び備品(純額)	21,229	15,285
土地	1,007,276	1,007,276
リース資産(純額)	504	126
建設仮勘定	77,337	81,110
有形固定資産合計	1,798,880	1,787,520
無形固定資産		
リース資産	1,888	1,294
その他	37,753	36,352
無形固定資産合計	39,642	37,646
投資その他の資産		
投資有価証券	654,359	638,629
その他	294,721	291,089
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	949,080	929,719
固定資産合計	2,787,603	2,754,886
資産合計	7,997,149	7,405,047

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	660,693	580,535
短期借入金	62,960	158,760
リース債務	2,585	1,534
未払法人税等	204,858	22,640
賞与引当金	94,287	43,306
未払金	141,985	218,805
未払費用	55,779	44,140
その他	17,858	33,392
流動負債合計	1,241,007	1,103,115
固定負債		
長期借入金	38,500	25,810
繰延税金負債	132,242	148,963
退職給付に係る負債	79,498	19,517
資産除去債務	3,780	3,780
長期未払金	8,637	5,916
その他	2,800	2,800
固定負債合計	265,459	206,786
負債合計	1,506,466	1,309,902
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	605,000	605,000
資本剰余金	182,998	200,670
利益剰余金	5,774,966	5,741,384
自己株式	△355,303	△719,026
株主資本合計	6,207,661	5,828,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268,992	256,632
為替換算調整勘定	14,029	10,483
その他の包括利益累計額合計	283,021	267,116
純資産合計	6,490,683	6,095,145
負債純資産合計	7,997,149	7,405,047

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
売上高	1,137,601	1,149,161
売上原価	658,254	664,283
売上総利益	479,346	484,878
販売費及び一般管理費	413,446	358,518
営業利益	65,900	126,360
営業外収益		
受取利息	370	547
受取配当金	13,533	15,038
為替差益	11,815	—
その他	2,093	2,269
営業外収益合計	27,812	17,856
営業外費用		
支払利息	451	383
為替差損	—	10,478
その他	33	15
営業外費用合計	485	10,878
経常利益	93,227	133,338
税金等調整前四半期純利益	93,227	133,338
法人税、住民税及び事業税	2,139	21,068
法人税等調整額	27,826	20,392
法人税等合計	29,965	41,461
四半期純利益	63,261	91,876
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,261	91,876



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	63,261	91,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,757	△12,359
為替換算調整勘定	△3,088	△3,545
その他の包括利益合計	△10,846	△15,905
四半期包括利益	52,415	75,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,415	75,971
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2019年6月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式160,000株の取得を行い、当第1四半期連結累計期間において自己株式が406,720千円増加しました。また2019年7月12日開催の取締役会決議に基づき、当社の管理職に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式24,200株の処分を行い、当第1四半期連結累計期間において自己株式が42,997千円減少し、資本剰余金が17,671千円増加しました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が200,670千円、自己株式が719,026千円となっております。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- ① 前第1四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	957,943	179,657	1,137,601	—	1,137,601
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	957,943	179,657	1,137,601	—	1,137,601
セグメント利益 又は損失(△)	71,624	△5,724	65,900	—	65,900

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- ② 当第1四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	958,211	190,950	1,149,161	—	1,149,161
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	958,211	190,950	1,149,161	—	1,149,161
セグメント利益	94,856	31,503	126,360	—	126,360

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、セグメント情報における報告セグメントを従来「東日本」と「西日本」および「海外」に区分しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から「国内」と「海外」に区分するよう変更しております。

これは従来、作業工具および機器類の販売を国内展開する事業を行う中で、事業活動の特徴に基づき東日本エリアと西日本エリアを報告セグメントとしておりましたが、販売力強化の施策として、国内を一体的に管理する傾向が強くなってきたため、報告セグメントについて再考した結果、当社グループの国内ビジネスを一体的な事業として捉えることが合理的であると判断したものであります。

なお、前第1四半期連結累計期のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。